

みらいゼミ活動報告書

ゼミテーマ：自分の意見を「伝える」 第一歩を踏み出す

ゼミの概要

事前に提供された社会課題などのテーマに対して自分で考え調べて頭の中で整理しておき、オンラインで集まり自分が考えていることや思いを伝える場をつくりました。

目指したゴール

「上手く話せない」「自分の意見がない」という不安を解消し、まずは安心してアウトプットできる場を作り、最終的には、どんな場面でも緊張せずに、自分の考えを堂々と相手に伝えられるようになること

実際の活動内容

実施スケジュール

- 6/11 第一回 初回ガイダンス
- 7/3 第二回 「大学の課題での生成AI使用について」
- 7/13 第三回 「働く上で何を重視するか」
- 7/28 第四回 「SNSがもたらすメリットとデメリットについて
どう考えるか」
- 8/14 第五回 「少子化を止めるにはどうすべきか」
- 9/7 第六回 「インターネット投票を全国で実施すべきか」

活動を通して得たもの

1,発信力の改善

- ・ **課題**：自分の考えを言葉にできず、うまく伝わらない悩みがあった
- ・ **ゼミを通して**：発言のハードルが下がり、少しずつ自分の伝えたいことが満足いくまで話せるように
- ・ **成果**：落ち着いて自分の考えを話す自信がついた

2,グループの運営経験

- ・ **ゼミを通して**：立場に関わらず、メンバーがフラットに意見を出せる空気感や環境づくりの必要性を感じた。リーダーがスパッと決定するだけではなくメンバーの意見を募り納得感を醸成しながら進めることの価値や難しさに気づいた

反省点・課題

- ・ **方針の一貫性不足**

事前に伝えていた形式やルールの変更で混乱を招いたのでガイダンスや事前のやり取りでメンバーの希望や事情を確認しておくべきだった。

- ・ **メンバーとのコミュニケーション不足**

メンバーの意見を運営に反映することや、積極的なコミュニケーション努力不足だった。

- ・ **スケジュールの管理・対応の杜撰さ**

約束した日時を忘れてしまったり、次回の実施日の連絡が遅れるなど自分の雑で適当な部分が出てしまいメンバーに迷惑をかけてしまった。

活動を考えている学生にむけて

- ・ **良い経験になる**

自分で何かを立ち上げて運営するという過程は、学生時代だからこそできる貴重な経験であり、社会に出てからも生きる経験になると思います。

- ・ **充実した支援体制**

運営に必要な経費をサポートしてもらえたり行き詰ったときに相談に乗ってくれる方がいるなど支援体制が整っているので安心して活動できます。

- ・ **人が集まるかの不安は不要！**

もしメンバーが集まらなくても1人で自分なりのペースや方法で活動できるので過度に心配する必要はないと感じました。